



エイズ予防財団 の取組

公益財団法人エイズ予防財団

事業部長 中村正

事業第一課 柏崎正雄

第6回重点都道府県等エイズ対策担当課長連絡協議会

日時:平成25年3月14日(木) 13:30～16:05

場所:厚生労働省22階 専用第14会議室

エイズ予防財団の紹介

□ 設立:

- ・1987年(昭和62年)2月の政府による「エイズ問題総合対策大綱」の一部を実施するため、民間の協力の下、厚生省(当時)の許可により、同年6月に設立。
- ・2011年(平成23年)4月1日、公益財団法人化。

□ 目的:

- ・HIV感染症・エイズの正しい知識の普及啓発、情報の収集・提供、国際交流の推進等を通じて、その予防とまん延の防止を図るなどにより、国民の保健福祉の向上に寄与すること。

エイズ予防財団の事業内容

①普及啓発事業

- ・啓発資材の作成
- ・各種イベントでの配布活動



②助成事業

- ・NGO等への支援
(助成事業:社会的支援事業、電話相談事業、啓発普及事業)
(ポジティブ・アクション助成事業:同性愛者等、ティーンエイジャー)

③国際協力事業

- ・エイズ国際会議での情報収集、情報発信
- ・国連合同エイズ計画(UNAIDS)への協力



エイズ予防財団の事業内容

④エイズ予防対策事業

(厚生労働省委託事業)

- ・相談事業
- ・エイズ予防情報センター整備事業
- ・青少年エイズ対策事業
- ・相談員養成事業 等



⑤エイズ対策研究推進事業



⑥同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業

(厚生労働省委託事業)

仙台



東京



名古屋



大阪



福岡



沖縄



エイズ予防財団の役割 (地方公共団体との協力)



①支援

②リソース

地方
公共団体

エイズ予防財団の役割 (地方公共団体との協力)

①支援

■HIV検査・相談事業

- 感染者が集中する地域での利便性の高い夜間・休日の検査・相談事業の実施
- イベント等の集客数の多い機会と連動した臨時検査の実施

さらなるHIV検査相談の機会を創り出すための事業です。

■中核拠点病院相談事業

- 各都道府県の中核拠点病院への相談員の配置(今年度:30の病院)

各都道府県におけるHIV感染者等への相談・援助をバックアップします。

■ 中核拠点病院連絡調整員養成事業

- 中核拠点病院の医師・看護師等に対する実地研修の実施
- 中核拠点病院の連絡調整員の能力向上のための会議の実施

HIV感染者等を地域の医療機関で受け入れられる連携体制を強化する事業です。

■ 在宅医療・介護の環境整備事業

- ① 実地研修事業：都道府県からの推薦による訪問看護師・介護職員等の実地研修の実施
- ② 支援チーム派遣事業：地域のかかりつけ医や歯科医の要請に応じた支援チームの派遣
- ③ HIV医療講習会（医師会、歯科医師会）：かかりつけ医や歯科医のための講習会の実施

HIV感染者等への在宅医療・介護の環境を整備するための事業です。

■ 相談員養成研修事業

今年度の開催実績

8月23日～24日	HIV検査相談研修会（於：東京）	約80名
10月18日～19日	HIV検査相談研修会（於：大阪）	約80名



保健所や医療機関のスタッフを対象に、最新知見・検査相談の基本を習得できます。

エイズ予防財団の役割 (地方公共団体との協力)

②リソース

■「エイズ予防情報ネット」における地方公共団体の 取組の情報発信

- 地方公共団体の皆様にご協力いただき、「HIV検査及びイベント」についてのアンケートを実施し、ホームページにて情報発信をしています。

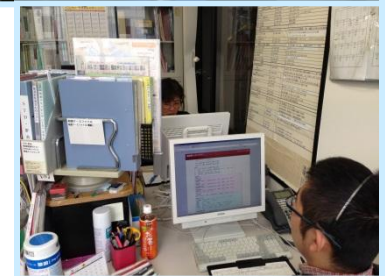


①	4月	HIV検査・相談体制及びHIV検査普及週間の取組に関する調査
②		「HIV検査普及週間」に係る特例HIV検査及びイベント等の実施予定調査
③	10月	「世界エイズデー」前後に実施するHIV検査・相談体制及びイベント等の実施に関する調査
④		「世界エイズデー」に係る特例HIV検査及びイベント等の実施予定調査
⑤	1月	「世界エイズデー」の実施結果調査

■エイズ予防財団 電話相談

<http://api-net.jfap.or.jp/inspection/telephone.html>

- フリーダイヤルによる電話相談 **0120-177-812**
(受付: 月～金10:00-13:00、14:00-17:00)
- 件数: 年間約10,000件の相談に対応
- 主訴: 感染不安、初期症状、検査の信頼性
といった相談が依然多い
- 傾向: HIV感染者の周りの人々(親、兄弟姉妹、パートナー等)
からの相談が増えている



■ NGOとの連携 (NGOデータベース)

<http://api-net.jfap.or.jp/ngo/index.html>

- 更新時期: 年1回の定期調査及び随時
- 登録団体数: 73団体

北海道・東北	7
関東	31
甲信越・北陸	5
東海	7
近畿	12
中国・四国	4
九州・沖縄	4
全国・その他	3
合 計	73



■ NGOとの連携(世界エイズデーキャンペーンテーマ)

http://api-net.jfap.or.jp/event/aidsday/2012/H24campaign_theme_intro.html

- 平成24年度は、フォーラム(2回)・検討会議にてNGOの意見を集約し、
「“AIDS” GOES ON... ～エイズは続いている～」
に決定・実施

【テーマの趣旨】

(前略)

社会的関心は低下している、しかしエイズの問題は解決されたわけではなく、現在も大きな課題を抱えています。一方、地道にHIV陽性者を支え続けている人、エイズ対策に取り組み続けている人がいます。この「続いている」というメッセージが多くの人にとっての考える契機となり、エイズに関する正しい知識やHIV陽性者への理解が社会全体に広がることによって、予防意識の向上や差別・偏見の解消につながるようにテーマを策定しました。



■エイズ知識啓発普及事業

<http://api-net.jfap.or.jp/knowledge/enlightenPamph.html>

●エイズの啓発・普及で使っていただけるパンフレットや啓発資材の提供



“AIDS” GOES ON...
～エイズは続いている～

HIV(エイズ)検査は、全国の保健所等で
無料・匿名で受けることができます。

「検査で陽性となった場合は、近所支援センターが取りまします」
厚生労働省、公益財団法人エイズ予防財団 <http://www.jfap.or.jp/>
エイズに関する電話相談 0120-177-812
エイズ予防情報ネット <http://api-net.jfap.or.jp/>

12月1日は世界エイズデー | 6月1～7日はHIV検査普及週間

3月
発送

通年で
使用できる
ポスターを
制作しました



※提供できる
数に限りが
ございます

HIV検査
受けましょう!

STOP AIDS

STIとか
エイズのこと
知ってる?

エイズ基礎知識

■「世界エイズデー」ポスターコンクール

http://api-net.jfap.or.jp/event/aidsday/2010poscon/2010p_contest.html

- 平成24年度「世界エイズデー」のポスターのデザインを公募し、約230点の作品から、小学生の部・中学生の部・高校生の部・一般の部の最優秀賞を選出。
- ポスターやミニパンフレットのデザインとして、年間を通じて使用。



■ACジャパンの支援による広報活動

- ACジャパン(旧 公共広告機構)の支援を受けてのHIV検査促進の多角的広報活動(テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ポスター等)



HIV検査普及週間や世界エイズデーなどの 啓発普及事業の担い手

- 厚生労働省
- 文部科学省
- 都道府県
- 市区町村

■国・自治体

■学生

- 早稲田大学公認
イベント企画サークル
ルqoon
- wAds (World
AIDS Day Series)
などなど

■企業 ／ (CSR)

- TBSラジオ
- オカモト
- アリコ
- Yahoo! JAPAN
- BODY SHOP
- ヴィーブヘルスケア
- ロシュ
- TOKYO FM
- MTV
- ACジャパン
などなど



■企業 (エンタテイメント)

■エイズ予防財団

■NGO

- ぷれいす東京
- JaNP+
- HIVと人権・情報センター
- アカー(動くゲイとレズビアン会)
- akta
- MASH大阪
- はばたき福祉事業団
- りょうちゃんず
- シェア=国際保健協力市民の会
などなど